

東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/ 松田 和秀
編集者/ 教育・広報部

申第11号「横須賀線輸送混乱に関する申し入れ」提出!

2018年1月25日8時24分頃に東戸塚駅で人身事故があり、救護活動を行い1時間以上要したものの9時42分頃には運転を再開しました。にもかかわらず、この関係での輸送混乱が22時過ぎまで続き、長時間ダイヤが乱れたことによって、お客さまに多大なご迷惑をかけることになりました。

そして、特に横須賀線各駅では、お客さまからの苦情が殺到し、対応に追われ苦労することになりました。

横須賀線については過去にも、一つの事象から長時間にわたり輸送混乱が続き、通常ダイヤに中々戻せなかったことを考えると、なぜこのような事象が繰り返されてしまうのか原因をしっかりと検証しなければなりません。

労使でしっかり議論し、二度とこのような事象が無いように下記の通り申し入れを行い、真摯な議論を求めます。

- 1、午前8時24分に人身事故が発生し、夜の22時過ぎまでダイヤが乱れた理由を明らかにすること。
- 2、逗子駅において、771S折り返し運行変更で1080Sの入力に時間がかかった理由を明らかにすること。
- 3、伝達省略を行う場合は、指令がATOS端末に入力後に計画書を各箇所へ送信すること。
- 4、運転整理をする場合、逗子～久里浜間は1時間に最低2本の列車を運転させること。
- 5、輸送混乱時は逗子駅電留線の訓練などを中止とすること。
- 6、各駅、輸送指令員と駅社員の過去の意見交換の中身を、新任指令員にも教育すること。
- 7、番線振り分けが出来る駅の到着直前での番線変更は行わないこと。

**安全に関して、一切の妥協は許さない。
職場から声を出して、解決しよう。**